

第5回 旧北上川河口かわまちづくり検討会

議事要旨

日 時:平成 29 年7月7日(金)

14:00～14:30 委員の現地視察

15:00～17:00 会議:石巻市役所 4階 庁議室

1. 委員の現地視察

○中央1丁目14・15番地区テラス川表側の階段の最後の一段について、夜間に降りてくると見えづらいので、改善した方がよい。

2. 議事

(a) 議事(1)【資料1】

○規約は資料1の改正案のとおり改正し、平成29年7月7日から施行する。

(b) 議事(2)【資料2(サイン計画について)】

○かわまちづくりのサインのデザインは、「石巻市防災サイン」と「水辺の緑のプロムナード計画のサイン計画」を含め全体で統一を図っていく。

非常時の避難行動や日常の水辺の利用を促すサインについて、それぞれの機関の役割分担を明確にした上で一体的に検討を進めていく。

【主な意見】

- ・人が集まる場所に津波を想定し、避難方法・ルート、地盤高さ等を示す情報サインが必要ではないか。
- ・サインのデザイン以前に、「どの程度のサインにするか」という考え方が重要。平常時と特殊な場合のサインの内容の方針を考えておく必要がある。
例:水辺について特に注意喚起が必要な箇所。
利用者の構成層の違い(不特定多数なのか地域住民の方なのか)に応じた伝達内容。
- ・津波被災を忘れないように、目立つ必要はないが被災の履歴やその後の復興を伝えるサインがあった方がよい。
- ・石巻市の防災に関するサイン計画がつくられているので、統一を図るとよい。また「水辺の緑のプロムナード計画」に、歴史を踏まえる・刻む等の計画があり、今後、歴史や震災の記憶等を活かした整備方法についても議論を図って欲しい。

(c) 議事(2)【資料2(親水テラスについて)】

○湊西地区の親水テラスにおいて、カヌーへの乗降について配慮する。

○例えば湊西地区の上流側において、魚釣り等利用者に配慮した修景捨石の積み方を試してみる。

【主な意見】

- ・河口に近い湊地区の親水テラスで、カヌー乗降を想定しているようだが、干満の水位差がある所

でカヌー乗降が本当に可能なのか。

- ・河口の左岸は釣りの利用者が多いので、釣り人にも配慮した構造にして欲しい。
- ・親水テラス以外にも、釣りで水辺に近づける箇所は修景捨石を歩き易い積み方とするなど、現場で楽しみながら工夫して欲しい。

(d) 議事(3)【資料3 第4回検討会で決めた各施設の基本形状の整備内容】

○資料3の内容のとおり了承する。

(e) 議事(4)【資料4 今後の進め方について】

○施工しながら細部のデザイン検討が出来る体制づくりを、現在の地区別WGの枠組みで継続して行っていく。

○発注者間の調整は地区別WGの中で継続して行う。

【主な意見】

- ・ディテールがとても大事であるので、施工しながら細部デザインが検討できるような体制で進めて欲しい。
- ・防潮堤と河川堤防の接合部は形の違う堤防が合わさるところなので、発注者間で調整を確実に進めて欲しい。
- ・南浜地区は、復興祈念公園からの視点も非常に大事なので配慮して欲しい。

(f) 議事(5)【その他(各委員 現地視察感想)】

○住吉小学校前に計画している干潟空間について、ヨシ原等の設計の際には専門家の東北大学西村教授も加えて進めて欲しい。

○住吉小学校前に計画している水制について、再考する余地があるのではないかな。

○橋の名前がいつまでも「仮称」となっている。完成を楽しみにしていただけるように橋名を募集するなど、市民に認識していただく取組みが必要ではないかな。

○今後は利活用等ソフト対策が必要である。川から歴史や震災状況等を伝えることも重要。復興公園から街なかへの動線がすべてコンクリートでは疲れる。ポイントポイントに憩いの場所や歴史などを学べる仕掛けを組込んで、楽しく歩けるようにして欲しい。

○これだけ多量の石を公共空間に使う工事は、石巻市内には他にないのではないかな。井内石が素材として魅力的だが、それを扱う職人や工事マネジメントが合わさると、石巻市以外の水辺の豊かさに貢献できるような新しい産業を生み出すことにつながるのではないかな。

(g) その他(船のある景観について)

○別途設けられている水面利用者協議会にて船舶の秩序について議論を重ねているため、ゆだねることとする。